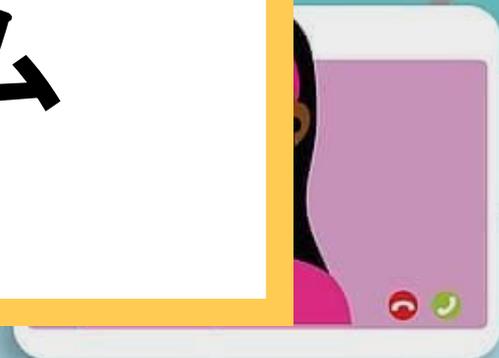


聴覚障害者に向けた ノートテイクシステム 開発プロジェクト

B08

山田 純平	秦 沙幸
井上 智琉	濱口 椋大
大寺 陽	武川 勇輝



背景

—聴覚障害者に向けたノートテイクシステム開発プロジェクト—

大学は**障害者差別解消法**により、障害者への**合理的配慮**が必要

聴覚障害のある学生への支援の例

パソコン
テイク

ノート
テイク

ノート作成

字幕挿入

引用: 東京大学バリアフリー支援室. "支援の例". <https://ds.adm.u-tokyo.ac.jp/receive-support/student02.html>, 2023-11-25参照.

どれもサポート**スタッフ1~2名の支援を前提**としている

→**人的要因による問題**が発生する

大学は障害者差別解消法により、障害者への合理的配慮が必要

事例No.194(難聴)授業時のノートテイク補助の申し出について

【事例紹介】

相談、不満・不服の申し立て、または支援の申し出

2.内容

授業時にノートテイクの補助を付けてほしい旨、受験時に相談があったが、当時は人員の余裕がなく、ノートテイクの補助はできないことを伝えた。当該学生が入学する数年前まではノートテイクを行っていたことがあり、そのことを知った母親からクレームの電話が大学にあった。

事例No.18(聾)情報保障者に専攻(理工系)を理解できる学生を申し出

【事例紹介】

相談、不満・不服の申し立て、または支援の申し出

2.内容

情報保障のための学生支援スタッフを調整する際、理工系の学生支援スタッフが少なかったため、文系の学生を割り当てたところ、「文系の学生支援スタッフであれば、支援はいらない」との申し出があった。

背景

-聴覚障害者に向けたノートテイクシステム開発プロジェクト-

大学は**障害者差別解消法**により、障害者への**合理的配慮**が必要

例) パソコンテイク、ノートテイク、ノート作成、字幕挿入

しかし

ボランティアの不足

ボランティアの能力差

が課題

→講義動画から音声、スライドを抽出し、
ノートテイキングと要約を作成するシステムを提案する

目的

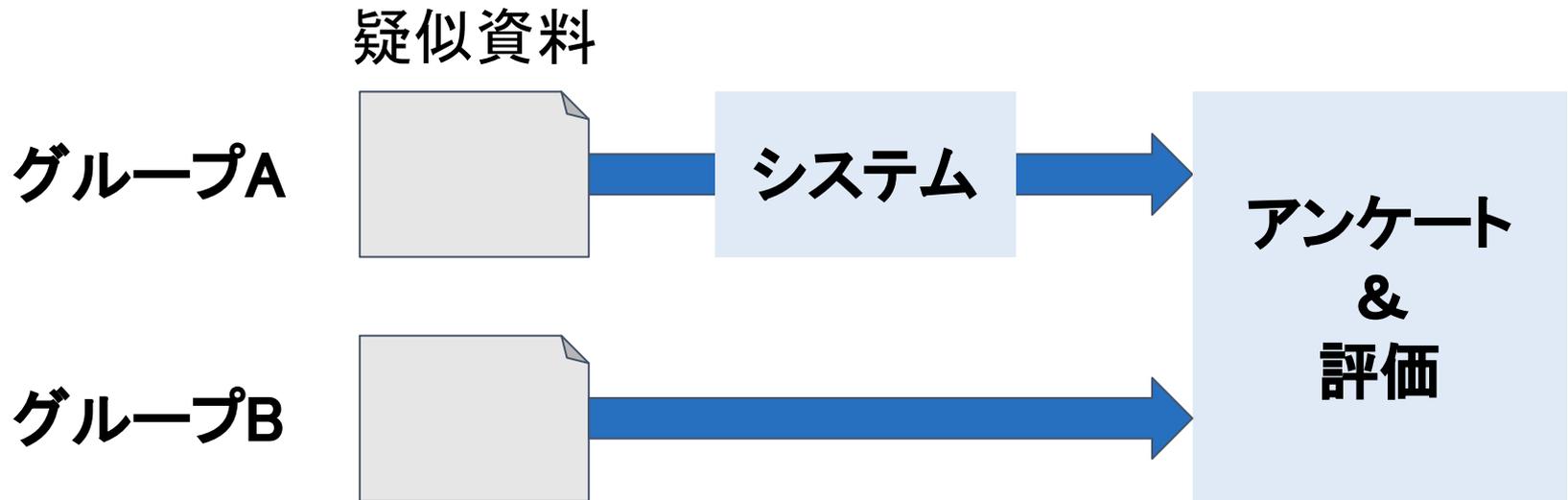
-聴覚障害者に向けたノートテイクシステム開発プロジェクト-

**授業資料から
聴覚障害者への合理的配慮のある
補足資料を作る**

目標

—聴覚障害者に向けたノートテイクシステム開発プロジェクト—

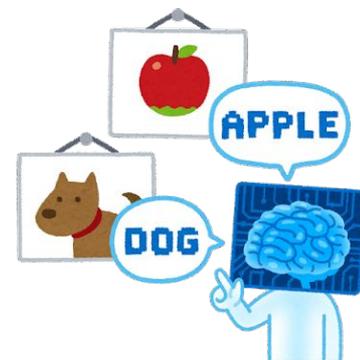
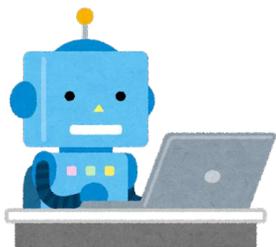
下記の実験を通して、
グループAの評価 > グループBの評価 のとき目標達成とする





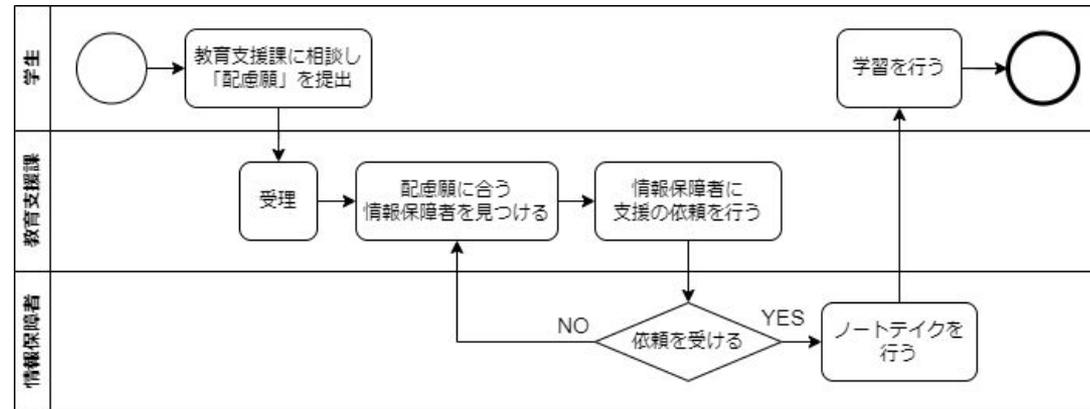
☆画像処理

→オンデマンドの講義動画からスライドを抽出。

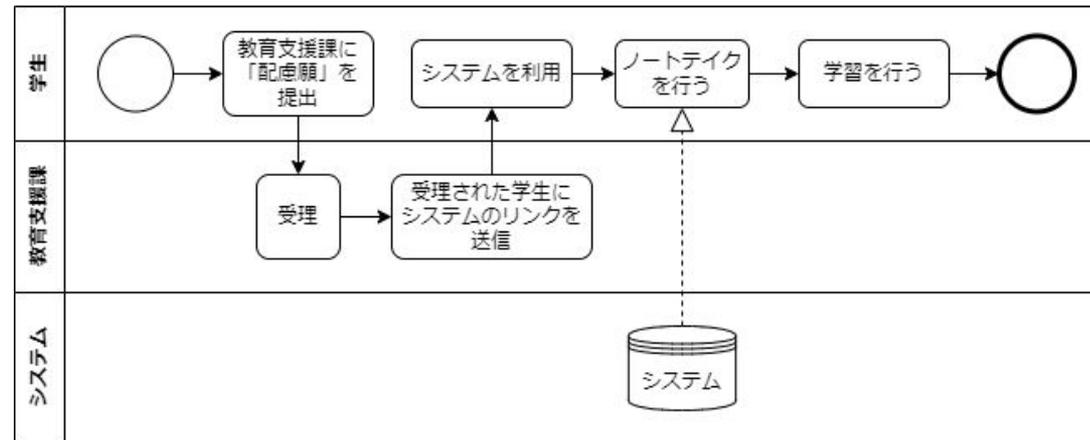


業務フロー図

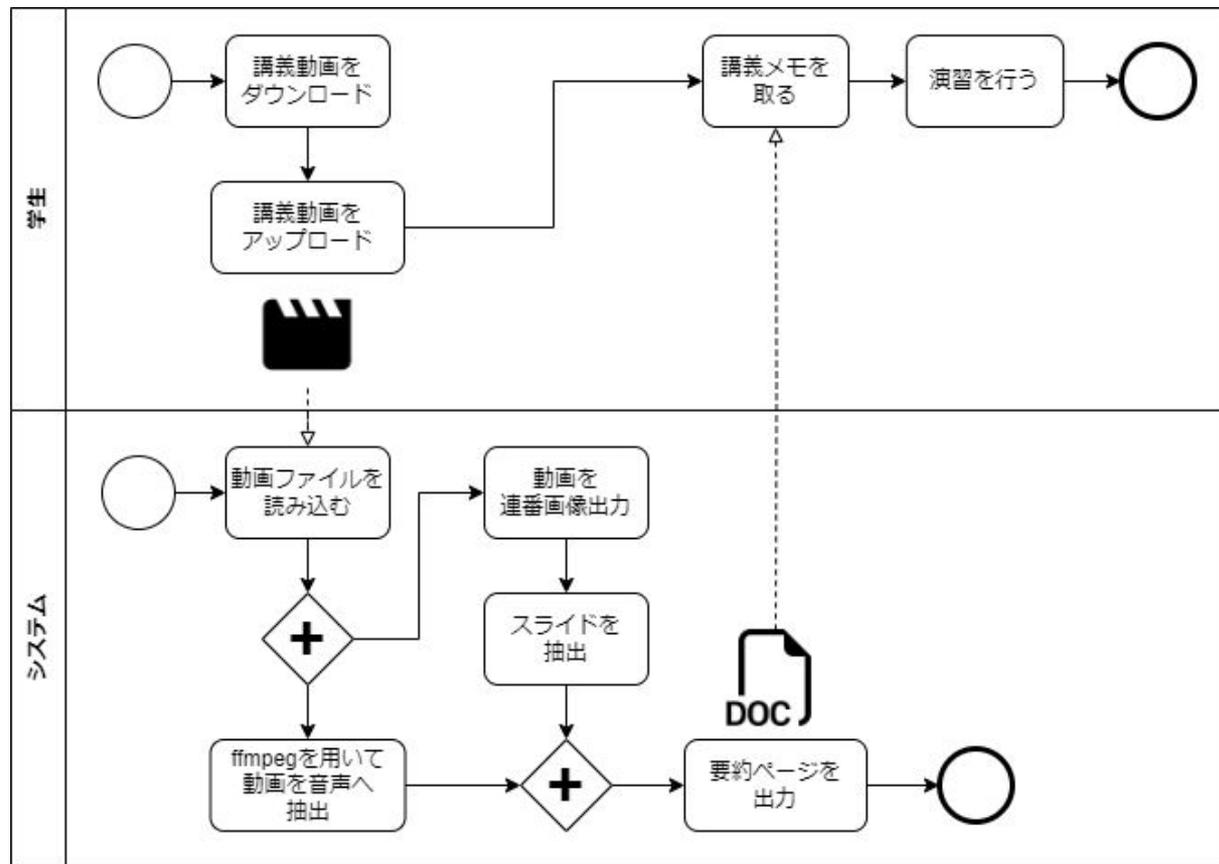
改善前



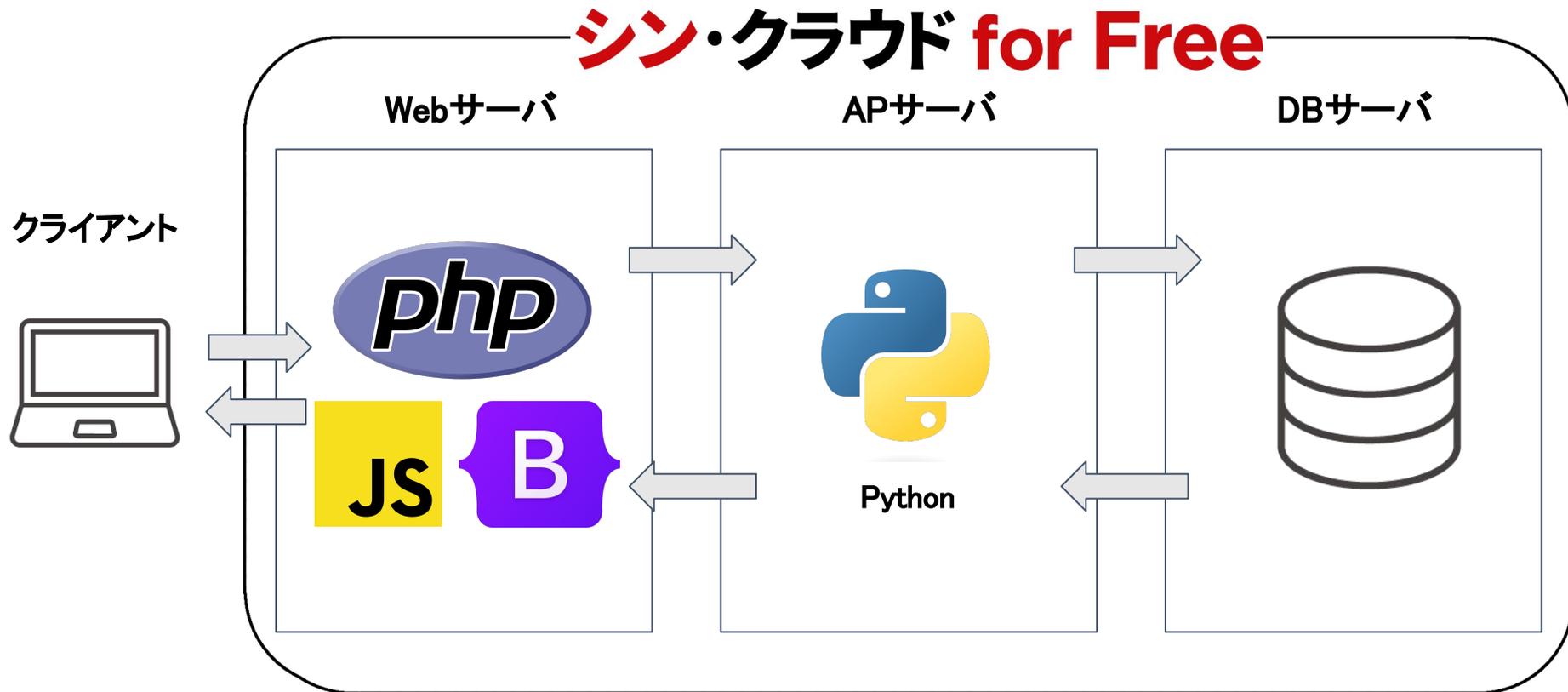
改善後



システム概要図



システム構成図



参考文献

- 1) 東京大学バリアフリー支援室. ”支援の例”. <https://ds.adm.u-tokyo.ac.jp/receive-support/student02.html>, 2023-11-25参照.
- 2) 独立行政法人日本学生支援機構. ”事例No.194(難聴)授業時のノートテイク補助の申し出について | JASSO”. https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_kaiketsu/case_aud/194.html, 2023-11-25参照.
- 3) 独立行政法人日本学生支援機構. ”事例No.18(聾)情報保障者に専攻(理工系)を理解できる学生を申し出 | JASSO”. https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_kaiketsu/case_aud/18.html, 2023-11-25参照.

- ・大学は**障害者差別解消法**により、
障害者への**合理的配慮**が必要
- ・しかし**ボランティア不足**とボランティアの**能力差**が課題
- ・障害を持つ学生に、より安定した支援が行えるよう
授業資料から補足資料を作るシステムを作ろう
- ・フロントにPHP、バックエンドにPythonを使用した